

妙高西条農園 おたより

No.146
10月号
2023.10.23



九月までは猛暑でしたが、
十月中旬には初冠雪が！

九月中旬までは、猛暑が続いて
いましたが、9月20日ころから雨
の日が多くなり、10月に入ってか
ら急に気温が下がり10月7日に
は妙高連山に初冠雪が見られる
ようになり、季節としては秋が無
く、いきなり冬が来たように、感
じられました。

今年の初冠雪も紅葉しない緑
の山に初雪でこれまでにない、異
様な景色となりました。



10月22日妙高連山の2日目の冠雪

農園スタッフ全員でハサかけ米作り



ハサかけ米作りも大変でした

ハサかけ米の刈取りは9月
中旬の猛暑で晴天のつづいた
中で行いましたが、20頃からの
天候の不順で中々乾燥が均一
に行かなく、稲揚げ（ハサから
外し脱穀）作業が9月末になっ
てしまいました。

それでも、乾燥は均一に仕上
がり、10月上旬からご注文をい
ただいた、方々に順次発送でき
ましたが、何分にもハサかけ米

の数量にかぎりがあることか
ら、希望の多いハサかけ米です
が、10月中にほとんど無くなっ
てしまいました。11月以降もハ
サかけ米の注文を頂いており
ます方々には、普通乾燥米で我
慢していただくこととなりま
すがお許しください。

2週間かけて、ハサかけ米が完成



これからの発送は新精米機で

猛暑と水不足の中での米作
りが影響し、新潟県の最終発表
では、例年ですとコシヒカリの
一等米比率が70〜80%でし
たが、今年は3%と今まで経験
をしたことのない状況でした。
そのようなことから、当農園

でも、水不足は免れましたが、
異常な猛暑の影響を受け、収
量で約10%の減収、品質でも
小粒で胴割れ現象が見られま
した。このようなことから、少
しでも胴割れ米を少なくする
ため、新型の米摺り機を導入
しました。

精米時の胴割れ防止に新型機を導入



早くも冬の準備が始まります

9月22日から関西のスキ
ー場等の視察に行ってきたし
た。早くも人工造雪機の試験

このQRコード
から10月の農
作業等の動画
が見られます。



運転が始まり、シーズンの近
いのを感じてきました。

今から造雪機の試運転が始まりました



人気の黒ニンニクも最後です

好評の黒ニンニクも残り少
なくなりました。年末の忙し
い時期これで頑張って下さい



1ケース¥500-

発行者
〒944-0023

新潟県妙高市西条 755
妙高西条農園池田博子
TEL 0255-72-3497
Fax 0255-72-2908